

平成23年9月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 平成23年9月8日午前10時

場 所 高浜市議事堂

議事日程

- 日程第1 議案第48号 高浜市税条例等の一部改正について  
議案第49号 高浜市都市計画税条例の一部改正について  
議案第50号 市道路線の認定について  
議案第51号 高浜市住民投票条例の一部改正について  
議案第52号 高浜市議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正について  
議案第53号 高浜市立保育所の設置及び管理に関する条例等の一部改正について
- 日程第2 議案第54号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第3回）  
議案第55号 平成23年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第56号 平成23年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第1回）  
議案第57号 平成23年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）
- 日程第3 認定第1号 平成22年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第2号 平成22年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第3号 平成22年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第4号 平成22年度高浜市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第5号 平成22年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第6号 平成22年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第7号 平成22年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第8号 平成22年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第9号 平成22年度高浜市水道事業会計決算認定について
- 日程第6 決算特別委員会の設置
- （日程追加）
- 日程第7 議案第58号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第4回）

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番 磯田義弘

2番 黒川美克

3番 柳 沢 英 希  
5番 柴 田 耕 一  
7番 杉 浦 辰 夫  
9番 北 川 広 人  
11番 鷲 見 宗 重  
13番 磯 貝 正 隆  
15番 小 嶋 克 文

4番 浅 岡 保 夫  
6番 幸 前 信 雄  
8番 杉 浦 敏 和  
10番 鈴 木 勝 彦  
12番 内 藤 とし子  
14番 内 藤 皓 嗣  
16番 小野田 由紀子

欠席議員

な し

説明のため出席した者

市 長	吉 岡 初 浩
副 市 長	杉 浦 幸 七
教 育 長	岸 上 善 徳
経営戦略グループリーダー	深 谷 直 弘
危機管理グループリーダー	亀 井 勝 彦
地 域 協 働 部 長	加 藤 元 久
地域政策グループリーダー	岡 島 正 明
財務評価グループリーダー	竹 内 正 夫
市民総合窓口センター長	新 美 龍 二
市民窓口グループリーダー	木 村 忠 好
市民生活グループリーダー	芝 田 啓 二
税務グループリーダー	森 野 隆
収納グループリーダー	内 藤 克 己
福 祉 部 長	神 谷 美 百 合
地域福祉グループリーダー	杉 浦 崇 臣
介護保険グループリーダー	篠 田 彰
保健福祉グループリーダー	加 藤 一 志
保健福祉グループ主幹兼福祉企画グループ主幹	磯 村 和 志
こども未来部長	神 谷 坂 敏
こども育成グループリーダー	大 岡 英 城
文化スポーツグループリーダー	山 本 時 雄
都 市 政 策 部 長	小笠原 修
都市整備グループリーダー	平 山 昌 秋

上下水道グループリーダー	竹 内 定
地域産業グループリーダー	神 谷 晴 之
行 政 管 理 部 長	大 竹 利 彰
人事グループリーダー	鈴 木 信 之
人事グループ主幹	山 下 浩 二
行政契約グループリーダー	内 田 徹
情報管理グループリーダー	時 津 祐 介
会 計 管 理 者	橋 本 貞 二
学校経営グループリーダー	中 村 孝 徳
学校経営グループ主幹	梅 田 稔
監査委員事務局長	鵜 殿 巖
代 表 監 査 委 員	加 藤 仁 康

職務のため出席した議会事務局職員

議 会 事 務 局 長	松 井 敏 行
主 査	杉 浦 俊 彦

議事の経過

○議長（鈴木勝彦） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほど、お願い申し上げます。

---

午前10時00分開議

○議長（鈴木勝彦） ただいまの出席議員は全員であります。

よって、これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

なお、審議の途中において執行部のグループリーダー等が席を移動することがありますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第1 議案第48号から議案第53号までを会議規則第34条の規定により

一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただきますようお願いいたします。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 議案第48号 高浜市税条例等の一部改正についてですけれども、不申告に対する過料の上限を3万円から10万円に引き上げるということですが、不申告に対してはPRというか宣伝などをして、罰則強化という形ではなく、宣伝だとかそういうことで啓蒙していくことが必要だと思いますけれども、そういうふうに考えますけれども、いかがでしょうか。他市の状況もわかる範囲でお願いします。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） 申告の際のPRということでございますが、うちのほう、確定申告の時期は当然2月から3月にかけてあるわけですが、この際にも広報、それから申告ですので、テレビ等、国のほうの確定申告のPR等を十分にさせていただいております。また、市内に限っては、申告の際に特別に事前の申告を2月1日から始めさせていただいておるということで、十分なPRはさせていただいております。これは、各近隣市とも同じようなPRの活動でございますので、よろしくをお願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） この3万円から10万円という部分では、ちょっと他市の状況を教えていただけなかったんですけれども、それも教えていただきたいなと思います。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） この過料につきましては国で定められて、地方税法の改正でございますので、全国同じでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 議案第53号についてですが、前から民営化する関係のお話がありましたが、現在何人ぐらいの職員が見えるのか、その中で何人の職員を残されるといいますか、次の民営化する運営団体のほうに移されるのか、まずそういう面でお示しをいただきたいと思っております。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 今現在、吉浜保育園における正規職員でございますが、9名ございます。それから、中央保育園は15人の職員がおります。そのうち各園とも2名の保育士を民間園に派遣する計画を持っております。期間といたしましては、1年目は2人、2年目は1人というふうに考えておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 2名の方が当初は見えて、次の年は1名にするということですが、9人の職員が見えて、中央でいえば15名が見えて、2人の職員が残るとい、残るといいますか新しく民営化されたところに見えるということなんですが、子供たちは、これまで来ていた子がそのまま来る方も見えるし、新しくみえる方もいるわけですね。新しくということは、わからないかもしれませんがけれども、兄弟なんかもみえるわけですし、そうすると園の雰囲気とか、それから人になれるということがありますので、そういう面で非常に、もちろん私どもは民営化反対ですけども、2人を残すだけでは、次の年は1名ということですので、だけでは、ちょっと不十分ではないかという気がいたします。

それと、児童センターのほうにはどなたも残らないというふうに伺っていますが、それでいいのかどうか。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） たしか2名でございますけれども、派遣する保育士については直近で3歳、4歳児を担当しておる保育士を中心に残す考えを持っております。それから、ほかにも臨時職員の方が見えるわけですけども、臨時職員の方につきましても、提案の中でも引き続き民間園のほうで雇用していただくということをしてしておりますので、残る保育士としては、正規職員としては2年間、2名でございますが、臨時職員の方もそのまま継続して雇用していただけるという形を民間園は提案しておりますので、そちらのほうも含めての環境の激変緩和にはなるというふうに思っております。

また、児童センターにつきましては確かに職員はございませんが、特に中央児童センターのほうについては児童クラブのほうもやっております。そこについては、シルバーさんに指導員という形で委託をしておりますが、引き続きシルバーさんを中央については雇用していただけるということですので、必ずしもゼロという形ではないというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 中央のほうでシルバーが、児童センターについてですが、見られるというふうに聞きましたが、吉浜の児童センターについてはどういうふうになるのか。

それから、臨時職員の方たちもみえるわけですが、そういう方たちが、臨時職員がみえても大方の先生がかわってしまうと、園の雰囲気というのは、やっぱり園長がかわれば、園長も新しい園に行くと、やっぱりその園で全体をまとめて雰囲気をつくっていくのに五、六年はかかるということを言われます。そういう面でも雰囲気が変わってしまうというふうに思うんですが、そういう面でどうなのかということをお聞きしたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 吉浜のほうですけども、児童クラブのほうの指導員の方ですけ

れども、今四、五名みえるわけですけれども、そのうちの何名かは、直接知多学園のほうが自分  
ところの職員で対応するというを言っておりますが、残る半分ぐらいは引き続きシルバーの  
方に委託をしたいというふうに考えておりますので、中央、吉浜についてもゼロというわけでは  
ございません。

それから、職員がおらなくなって雰囲気が変わるということがございますけれども、事業その  
ものも独自の事業はされますが、今のやっておる現の事業というか雰囲気というか、そういった  
ものを極めて継続してやっていくというようなことを、提案書でも述べておられます。それから、  
臨時職員の方もほかにもたくさんみえますので、そういった方も含めて、雰囲気は必ずしも激変  
してしまうということではないというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） そういう場合に、臨時職員の方、正規職員というか、そういう方たちの  
給料についてはどのようになっているのか、わかりましたらお願いします。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 臨時職員の給料という形でよろしいですか。

○12番（内藤とし子） はい。

○こども育成G（大岡英城） 当然その給料につきましては、法人のほうが決められるという形  
で持っておりますが、社会福祉協議会が運営いたします中央保育園につきましては、市の臨時職  
員の給与とほとんど一緒でございます。全く一緒でございます。知多学園についてもほとんど同  
じような金額というふうに聞いておりますので、近い金額だというふうに聞いております。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） ほとんど近いというのは、安いのか高いのか、そのあたりは近いといっ  
ても高いのも安いのもありますが、そのあたりはどうなんでしょう。

○議長（鈴木勝彦） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 市の場合、4年ですかね、経過しますと単価が上がります。知多  
学園のほうの今聞いております単価については、単価自体はたしか私どもは980円で時間で最初  
雇用しておりますけれども、知多学園は1,000、ちょっと正確な数字は忘れましたが、千二、三  
十円よりも少し高かったと思います。ただ、4年、5年たったときに上がるということがないとい  
うふうな形は聞いております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて議案第48号から議案第53号まで  
の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第48号から議案第53号までについては、会議規則第36条第

1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第2 議案第54号から議案第57号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただきますようお願いいたします。

13番、磯貝正隆議員。

○13番（磯貝正隆） お願いをいたします。議案第54号、一般会計補正予算の中で、委員会が違いますので、ここでちょっと御質問させていただきますけれども、49ページ、歳入のほうでは39ページ、ドラマ制作関連、こども・若者成長応援事業について伺います。

この制作関連では、まちづくり市民会議の皆さんが提案をされました市民予算枠事業の協働事業が採択を既にされております。その中で100万円という予算で動いておるわけでございますけれども、今回の補正予算でこのドラマ制作事業委託料を計上するに至った経緯をひとつ伺いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） こども未来部長。

○こども未来部長（神谷坂敏） それでは、経緯ということでございますので、若干答弁のほうで長くなることを御容赦願いたいというふう存じます。

高浜市におきましては、御案内のとおり中・高校生の居場所「バコハ」でありますとか、たかはま夢・未来塾などの子供、若者の健全育成に力を入れているところでありますが、バコハが約6年ほどの経過の中で、卒業生と現役メンバーとのつながりが次第に薄れていって、事業も活気がなくなるというような状況が最近見られるようになりました。市といたしましては、かねてからバコハの方向性を見直しでありますとか、若者同士のきずなづくり、地域とのかかわりは喫緊の課題でございまして、市が主体的に取り組むべきものと認識をいたしておりました。

このような折に、これまでもバコハにおきましてコンサートでありますとか祭りなどの御支援をいただいておりますまちづくり市民会議の皆様から、子供や若者たちがみんな何かをつくり、コミュニケーション能力を高め、自主的に考え、行動することを浸透させながら、市内に在学、在住の若者たちをつなぐためには、町ぐるみで年齢を問わずたくさんのかかわることができるドラマづくりが最善ではないかとの考えのもとに、現在のバコハのOB、OGを含めたメンバーからも、現状の打破と地域貢献の提案もございまして、これらのスタッフを生かすことができるこの時期に、市民予算枠事業の協働事業100万円の活用が提案されたものでございます。

この提案につきましては、6月22日に開催をされました市民予算枠事業審査委員会において採択をされまして、その後、まちづくり市民会議の皆様の中にバコハのOB、OG等の新たなメン

バーが加わりまして、現在、きずな実行委員会として活動中でございます。

市といたしましても、本来なら当初予算で御審議いただくべき内容ではありますが、若者たちを取り巻く環境というのは、受験、卒業、就職など1年間で大きく変化をすることになりますため、今提案をしたバコハの若者たちの思いを生かせるよう、市民側の提案も受けまして本年度中に予算化が必要との認識に至りました。

そこで、ドラマの規模や質の向上のために、補助事業を活用して、ドラマ制作の根幹であります撮影、編集の部分を専門業者に委託することを計画いたしまして、国や県に積極的に働きかけました結果、地域の実情に応じた創意工夫のある子育て支援活動に関する取り組みを支援するという国の安心こども基金を原資といたしました補助率10分の10の県の地域子育て創生事業費補助金の活用について、800名余のオーディション参加者数と事業趣旨を国や県に御理解をいただきまして、今回お認めをいただいたものでございます。

以上でございます。

○議長（鈴木勝彦） 13番、磯貝正隆議員。

○13番（磯貝正隆） ありがとうございます。今、きずな実行委員会というお話がございましたけれども、このきずな実行委員会の役割、また、ここには委託料を別にお支払いになるのかどうか、お教え願いたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） こども未来部長。

○こども未来部長（神谷坂敏） 今回計上いたしました地域子育て創生事業費補助金というのは、既に国のほうで実施要領が定められております。その内容の中で、実施主体については都道府県または市町村というふうにされておりますため、市が先ほど申し上げた専門業者とは直接契約をする必要があるというふうに判断をしております。したがって、きずな実行委員会へは委託料はお支払いをしないということになりますので、その委員会の役割といたしましては、地域や企業の大人と子供、若者をつなげるきずなづくりが主になるものと考えております。

○議長（鈴木勝彦） 13番、磯貝正隆議員。

○13番（磯貝正隆） ありがとうございます。このきずな実行委員会が、このドラマづくりというものに対しての趣旨書というものがあります。この中では、一過性ではなく、将来この活動をきっかけとし、高浜の自慢を市民でつくり、市内外へ発信できる継続的な動きに発展させるというふうに書いてあります。市としてはどういうイメージをお持ちなのか、ひとつお願いをいたします。

○議長（鈴木勝彦） こども未来部長。

○こども未来部長（神谷坂敏） まずもって、9月18日に開催をいたします撮影キックオフ式には、オーディション参加者の800名余の方とボランティアで希望されている方、その方たちに参加のほうの御案内をいたしまして、ドラマづくりに対する求心力を高めてまいりたいというふう



に考えております。なお、この案内については既に実施済みでございます。

その後、撮影スケジュールが明確になりました時点で、撮影の日時、場所、内容、エキストラとかボランティアの必要人数等を、常に「タカハマ物語」のホームページで情報発信をいたしまして、参加者数をふやしてまいりたいというふうに考えております。

また、来年度も第2部の撮影、編集を予算化することになりますが、オーディションの参加者数が予想を超える人数でありましたため、コンサートの規模やドラマそのものも拡大する可能性があることから、別途予算化が必要な可能性もあるという中で、撮影の最終となりますコンサートや完成後に開催をしますドラマの上映会、そのあたりの実施計画というのを、子供、若者たちの考えを中心に意見交換をしながら組み立てていきたい、それとの中で新たな取り組みについても発掘をしてみたいというふうに考えております。

以上のような取り組みにおきまして、近い将来には、若者たちが市民予算枠事業の活用などを自分たちで考えて実行できるような活動や、それに対する組織づくりにつなげてまいりたいというふうに考えております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 主要新規事業のナンバー2、3、4ですが、これについてちょっと説明をしていただきたいというのと、それからページ数で47ページですが、児童虐待防止事業委託料というのが家庭児童相談事業の中に入っています。これ、どういうところに委託するということなのか、ちょっと内容について御説明してください。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） それでは、まず内藤議員からの御質問のありました児童虐待のほうからお答えさせていただきます。

まず、この委託料につきましては、11月6日にわくわくフェスティバルがいきいき広場で開催されますが、そのいきいき広場のわくわくフェスティバルに合わせて、民生・児童委員協議会のほうに委託をして、その児童虐待の啓発ですね、そちらのほうをやっていただくというふうに思っております。

それとまた別に、専門職向けの虐待防止研修会、家庭児童相談員の方ですとか市内保育園、幼稚園、小・中教員の方などを対象にした専門職の研修会、こちらについては日本福祉大学のほうへ委託を考えております。

それともう一点、記録映画の「葦牙」というのがございますが、その上映ということで、この記録映画を上映される会社のほうへ委託を考えております。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 福祉企画グループ。

○福祉企画G（磯村和志） 主要新規事業の2番、3番、4番でございますけれども、高齢化が進展する中、年をとりましても人生の主役として現役で生きていこうと、生きがいを見失わずに人生を謳歌しながら、その人らしく生き生きと生きられる生涯現役のまちづくりの構築に向けまして、その方向性や可能性を探ってまいり事業でございます。

現在、高齢者の皆さんは、きょう1日何をして過ごすか、あるいは今週1週間、何をして過ごすかを自己選択、自己決定できているでしょうか、尊厳ある暮らしを送ることができているでしょうか、目的や居場所、そして仲間を失っていないでしょうか。生涯現役のまちづくりでは、こういった高齢者の皆さんの閉じこもり防止、外出支援、生きがいづくり、仲間づくり、そして介護予防、健康増進につながる取り組みを調査研究してまいります。

また、その際、さまざまなプログラムを市内の地域資源で実践をしていただくことを予定いたしておりますが、そのプログラムを実践することによりまして、どのような効果があるのかといったことも分析調査してまいりたいと考えております。体の動き、心の動き、活力、根気、こういった健康のバロメーターがどう変化するかを分析調査いたしまして、数値化することにより、効果の可視化を図ってまいりたいと考えております。効果を高齢者の方お一人お一人が御自身の目で確認できることは、喜びとさらなる励みへとつながると考えております。

また、高齢者の方々が長年培われました知識や技能、こういったものをコミュニティビジネスという場で生かしていただくことも考えておりますので、ことしは主に講義を中心といたしまして、高齢者の方のコミュニティビジネスに関する気持ちを引き出してまいりたいというように考えております。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 児童虐待の関係ですが、わくわくフェスタと専門職向けの研修というのはわかりましたが、「あしかび」というのは、ちょっと私が聞き間違いかもしれませんが、「あしかび」と聞きましたが、どういう字を書かれるのか、どういう意味なのか、ちょっとそこについてお示しをいただきたいと思っております。

それから、主要新規事業のほうですが、高齢者のコミュニティビジネスのところには、高齢者が調査企画にかかわる、携わるということで載っていますが、どれぐらいの方がこういう企画を出した際にやっていただけそうというようなめどが立っているのか、そのあたりをお示してください。

それから、介護予防プログラムの分析調査事業というのは、これはこれからやられるということなんですが、どういうところへ委託をされるのか。それと、ここに内訳でシステムの使用料とか機械器具費とか載っていますが、これはどういうものが当てはまるのか、ちょっとお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（杉浦崇臣） まず、児童虐待の啓発事業のほうの「あしかび」の字、どういった字かということなんですが、まず「あし」は植物の「葦」の字を書きます。それとあと「かび」は「牙」という字ですね。わかりますでしょうか。それで「葦牙」といいます。これは、陸奥のある児童養護施設の記録映画でございます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） 経営戦略グループ。

○経営戦略G（深谷直弘） コミュニティビジネスに対する御質問でございます。高齢者が調査企画に携わるということで、人数はどれぐらいを想定してというような御質問でございますが、まさに1回目の答弁で申し上げておりますように、まず皆さんの、たくさん大勢の方がこういったものに気づいていただくということと、地域の支え合いというのがどういった形でビジネスに通じるのかなということを進めていくものですから、私どもとしては大勢の方にそこへ御参画を、少しでも大勢の方に御参加をいただくということが、ネットワークを広げ、またその次に向けてのステップになっていくと、そういうふうを考えております。

○議長（鈴木勝彦） 福祉企画グループ。

○福祉企画G（磯村和志） 介護予防プログラムの分析調査は、株式会社夢のみずうみ村へ委託することを考えております。夢のみずうみ村では、介護予防プログラムを実践した際に、健康のバロメーターがどのように変化するかを独自のミルク評価を用いて数値化したしております。ただし、この評価は施設を利用してみえる要介護認定者に適用されるものであります。したがって、高浜市では、元気高齢者を含めたすべての高齢者を対象に生涯現役のまちづくりを構築し、数多くの健康増進、介護予防のプログラムを用意してまいりますので、夢のみずうみ村のミルク分析をアレンジした新しい評価基準を作成する予定をいたしております。

また、このみずうみ村のシステムでございますが、インターネットの環境があれば直接みずうみ村のホストコンピューターに接続し、活用することができると伺っております。したがって、生涯現役の学習システムの使用料の関係でございますが、高浜市で新たに独自のプログラムを開発するのではなくて、みずうみ村へ使用料をお支払いしまして、既存システムを活用してまいりたいと考えております。

また、機械器具費の関係でございますが、実際に今年度、一部の社会資源をオンラインで結びまして、ミルク分析がうまく機能するかどうか、こういったことを検証するためにコンピューター機器の一式を購入することを考えておるものでございます。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて議案第54号から議案第57号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第54号から議案第57号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第3 認定第1号 平成22年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただきますようお願いいたします。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 101ページなんですけれども、歳入の市税、1款1項1目、個人と……

○議長（鈴木勝彦） 決算書か主要成果か教えてください。

○11番（鷺見宗重） すみません、決算書の100ページです。1款1項1目の個人の方なんですけれども、収入未済額が3億7,800万になっているんですけれども、3億8,200万になっていますけれども、何かすごく多いなと思って、どういうことかなというのと、あと2目の法人税、予算額が1億8,000万であるのに対して収入額が5億4,000万になっているんですけれども、これもすごくえらい違いだなというふうに考えていて、そこいら辺を教えてくださいなと思います。

○議長（鈴木勝彦） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） ちょっと質問が逆になりますけれども、まず法人市民税の関係で、予算に比べて3億ぐらいふえたということですが、この件につきましては、22年度の法人市民税につきましては、国のほうのいろんな施策等、エコポイント、エコカー減税だとか、そういった関係で生産の増加、それから企業収益が回復をしたということで、前年の予算よりかは大分ふえたということですが、予算を見込む際にこの額の違いについては、経済状況等を把握しながら予算をつくらせていただいておりますが、現状、大変まだまだ不透明な状況でございます、こういった差が出たということですので、よろしくお願いたします。

○議長（鈴木勝彦） 収納グループ。

○収納G（内藤克己） 収入未済額が3億7,800万ほどありまして、額が大きいのではないかと御質問がございました。収入未済額につきまして、平成21年度に比較しますと2,000万ほど減少はしております。ただ、いずれにいたしましても、先ほど税務グループリーダーからも答弁がございました。経済状況がまだ回復していないという状況もございます。

私ども、滞納整理をいろんな方法で行っております。直接お宅を訪問したり、あるいは文書でお願いしたり、電話でお願いしたりといった活動を展開しておりますが、やはり個人市民税につきましては、前年度の所得を加味した上での税額が決まっておりますので、やはり前年は職が

ありましたが翌年度になって失職をしてしまった、リストラに遭って職を失ってしまったという方が依然多い状況でございます。ですから、私ども、こういった活動、展開はしておるんですが、やはり現状といたしまして、3億7,800万ほどの収入未済額が発生しておるという状況でございます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 認定第1号の関係で、広報、2款1項……

○議長（鈴木勝彦） ページ数のお示しをお願いいたします。

○12番（内藤とし子） 成果説明書の2款1項8目広報広聴活動、55ページですが、広報活動の中で、昨年の事業仕分けでも、発行枚数が少ないのではないかというお話が出ていました。どれぐらい発行枚数をふやして、どれぐらい改善したのか、その点をお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 危機管理グループ。

○危機管理G（亀井勝彦） ただいま御質問のありました広報の発行部数につきましてですけれども、平成22年度の発行部数につきましては、前年と発行部数のほうの変更はございません。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 事業仕分けでも7割ぐらいしか発行していないということで、市民は一応税金払っているわけですから、全員に渡すのが筋ではないかというお話が出ていましたが、その点ではどうされる、どうなっているのでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 危機管理グループ。

○危機管理G（亀井勝彦） 発行部数につきましては、事業仕分けのほうでそういった御意見もいただいておりますが、紙媒体での発行のほか、今でいいますと、若い方でいきますと、ホームページ上におきましても、広報配布と同時にインターネット等で、高浜市の公式ホームページのほうで閲覧できるようになっておりますので、そういった面も踏まえまして、現時点では昨年度と比べて同数の1万3,500部を発行している状況でございます。

○議長（鈴木勝彦） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） よその市では、全員に渡すように努めているし、渡しているというふうに伺っているんですが、高浜はそういう状況だということなんですが、今後どのように、全員に渡していくのか、今のままいくのか、その点ではどうなんでしょう。

○議長（鈴木勝彦） 危機管理グループ。

○危機管理G（亀井勝彦） 今の御質問につきましては、当面今の状況を継続させていただいて、万一例えば全戸配布だとか、要望等、増刷の要望がありましたら、その時点で再度検討したいと思いますが、現時点におきましては現状の1万3,500部と、その他媒体を通じての情報発信とい

うことで続けていきたいと考えております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） 主要施策成果説明書の44ページ、2款1項3目ですけれども、まちづくり協議会について補助金を交付しているみたいですが、これについて調査されているかをちょっと。決算書を出していただけてみえるところだと思いますけれども、確認できているかどうかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） 市民予算枠事業の結果につきましては、事業の成果等々、数字も含めまして、決算額等々含めて市のほうに提出をいただいております。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） プラスアルファなんですけれども、2項1目19節、76ページになります。この指定管理料が各ふれあいプラザに渡っているような形になっているんですけれども、これはどのようにしているのか、ちょっとお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） 南部ふれあいプラザにつきましては指定管理料、その他につきましては、吉浜、翼、高浜につきましては委託料、管理委託という形でやっておりますけれども、貸し館をやっている関係で、そこの委託、貸し館の関係の委託をお願いしておるという位置づけでございます。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） だれというか、どちらの方に払ってみえるのかがちょっと不明確に見えますけれども、いかがでしょうか。

○議長（鈴木勝彦） 地域政策グループ。

○地域政策G（岡島正明） 主要施策成果説明書の76ページのところで、きちっと各まちづくり協議会への支援ということで、各まちづくり協議会ごとに委託料を明確に示させていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） もう一つ、別ですけれども、66ページ、2款1項14目ですけれども、多分これ電算機システムのことだと思うんですけれども、6,300万はなかなか高いなというふうに思っていて、契約から何からちょっと教えていただきたいんですけれども。

○議長（鈴木勝彦） 情報管理グループ。

○情報管理G（時津祐介） 総合住民情報管理事業の6,300万ということでお尋ねでございます。このほぼ大半ですが、4,700万程度が機器のリース料という形になります。よろしく願いいた

します。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） いつからのリース料でしょうか。何年間のリース料ですか。

○議長（鈴木勝彦） 情報管理グループ。

○情報管理G（時津祐介） 機器のリースでございますが、ほぼ5年間リースということでございます。この中で一番大きい総合住民情報システムにつきましては、前の議会の中でも御説明しましたように本年度でリース切れになりますので、来年度からの新しいシステムのリースが来年度からまた5年間始まるということでございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） なかなか高いものだなというふうに思っていて、今回更新ということでリース料がどうなるか示していただけるといいんですけども、わからないんで。

○議長（鈴木勝彦） 情報管理グループ。

○情報管理G（時津祐介） システムというのは、全体の、市で一番大きなデータベースシステムになりますので、やはりその運用についてはそれなりの金額がかかっていくということをまず御理解いただきたいと思います。来年度からの運用費でございますが、現行の運用費より若干下がるということで御提案を受けておりますので、そういった見込みでおりますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦） 11番、鷺見宗重議員。

○11番（鷺見宗重） .....  
.....  
.....  
.....

○議長（鈴木勝彦） 行政契約グループ。

○行政契約G（内田 徹） ここで計算してございます諸費につきましては、あくまでも自衛官を募集するために要した費用を計上させていただいております。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第1号の質疑を終結いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第4 認定第2号から認定第8号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、認定第何号であるかと、ページ数及び款・項・目・節を明確に

お示しいただくようお願いいたします。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 質疑もないようですので、これにて認定第2号から認定第8号までの質疑を終結いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第5 認定第9号 平成22年度高浜市水道事業会計決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいただきますようお願いいたします。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 決算審査意見書の60ページですが、ここの結びの最後のほうに、「引き続き、高浜市水道事業経営形態検討委員会から提言された意見を尊重し」とあります。どのような意見が提言されているのかお示してください。

○議長（鈴木勝彦） 上下水道グループ。

○上下水道G（竹内 定） 提言の内容でございますけれども、経営の効率化を図ることが第一に挙げられております。

以上です。

○議長（鈴木勝彦） ほかに。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第9号の質疑を終結いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第6 決算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

認定第1号から認定第9号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、認定第1号から認定第9号までにつきましては、決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第7条第1項の規定により、黒川美克議員、浅岡保夫議員、幸前信雄議員、杉浦敏和議員、内藤とし子議員、



内藤皓嗣議員、小野田由紀子議員、私、鈴木勝彦、以上8名を指名したいと思います、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました8名の議員を決算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

---

○議長（鈴木勝彦） ここで、9月6日に議会運営委員会が開催されましたので、その結果の報告を求めます。

議会運営委員長、磯貝正隆議員。

〔議会運営委員長 磯貝正隆 登壇〕

○議会運営委員長（磯貝正隆） 御指名をいただきましたので、議会運営委員会の御報告を申し上げます。

9月6日に委員全員出席のもと、議会運営委員会を開催いたしました。

市長から議案第58号が追加提出をされ、この取り扱いについて検討いたしました結果、本日、日程を追加することとし、その取り扱いについては、上程、説明を願って、総括質疑後、委員会付託し、審査を願うことに決定をいたしました。

皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げ、報告といたします。

〔議会運営委員長 磯貝正隆 降壇〕

○議長（鈴木勝彦） ただいま議会運営委員長の報告がありました。

ここで市長より発言を求められていますので、発言を許可いたします。

市長。

○市長（吉岡初浩） 失礼いたします。先ほど議運の委員長さんから御報告をいただきました。本定例会の初めに御配慮のほどお願いを申し上げておりました一般会計補正予算につきましては御許可をいただきましたので、本日提案をさせていただきます。

詳細につきましては、地域協働部長より説明をさせていただきますので、慎重に御審議の上、御可決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） お諮りいたします。

ただいま市長より議案第58号が追加提出され、これを受理いたしました。この際、これを日程に追加したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 御異議なしと認めます。

よって、議案第58号を日程に追加することに決定いたしました。

---

○議長（鈴木勝彦） 日程第7 議案第58号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第4回）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

地域協働部長。

○地域協働部長（加藤元久） それでは、議案第58号 平成23年度高浜市一般会計補正予算（第4回）について御説明申し上げます。

お手元の補正予算書の5ページをお願いいたします。

今回の補正は、歳入歳出予算にそれぞれ752万5,000円を追加し、補正後の予算総額を138億3,429万1,000円といたすものでございます。

補正予算説明書の18ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、14款2項1目総務費県補助金の補正は、緊急雇用創出基金事業に係る標高サイン整備業務委託料に対する補助金として、愛知県緊急雇用創出事業基金事業費補助金を752万5,000円計上いたすものであります。

次に、歳出でございますが、20ページをお願いいたします。

2款1項18目防災対策費の補正は、緊急雇用創出基金事業において市民の皆さんの防災意識の向上を図ることを目的に、大規模地震による津波や台風等による高潮、大雨の被害から市民の財産、生命を守るため、標高の見える化を行う標高サイン整備業務委託料として752万5,000円を計上いたすものであります。

以上が一般会計第4回補正予算の概要でございます。よろしく御願い申し上げます。

○議長（鈴木勝彦） これより総括質疑を行います。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 質疑もないようですので、これをもって議案第58号の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第58号については、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付いたしております議案付託表のとおり、福祉文教委員会に付託いたします。

---

○議長（鈴木勝彦） 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

決算特別委員会及び常任委員会の開催により、9月9日から9月27日までを休会としたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦） 異議なしと認めます。

よって、9月9日から9月27日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、9月28日午前10時であります。

本日は、これをもって散会いたします。御協力ありがとうございました。

午前10時55分散会

---